資料№99

消防はしご自動車の仕様について

消防本部警防課

35m級先端屈折式はしご自動車

（1）はしご先端を折り曲げることにより、従来の直進式では困難であった電線やフェンスを回避でき、目標物への接近が可能となります。

（2）四輪操舵によりホイールベースが長いはしご自動車でも小回りができ、市街地などの比較的狭い道路でも走行しやすくなります。

（3）はしごをマイナス角まで伸ばすことが可能なため、橋脚から河川など水難救助や崖下救助活動等、低所への進入も容易になり、効率的かつ安全な救出作業ができます。

（4）伸縮水路付きのため、はしごの動きに合わせてスムーズに起伏・伸縮・旋回・屈折の時でも自由な放水が可能です。また、ホースの脱着作業も要らないため、はしごへのホースの挟み込みの心配がなく、はしごの動きに合わせてホースをさばく隊員が不要になるため、迅速かつ効率的な活動ができます。

（5）今まで同時に使用できなかったバスケットとリフターが同時に使用できるため、一度建物等に架梯すれば、連続して要救助者の救出や隊員を送り込むことができます。

（6）活動図

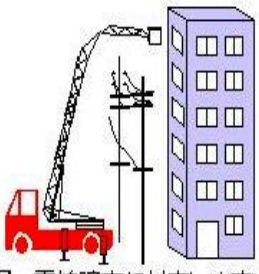


図1 電線障害に対応しやすい

図2 セットバックしている建物に対応しやすい

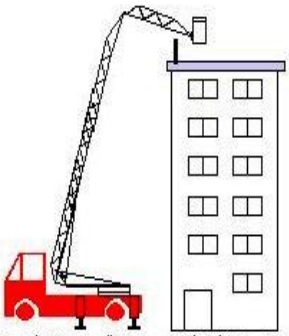


図3 屋上面にバスケットを降ろしやすい

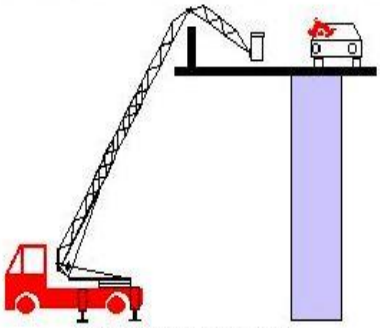


図4 高速道路での活動

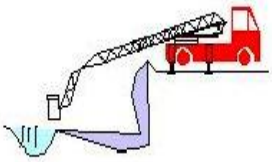
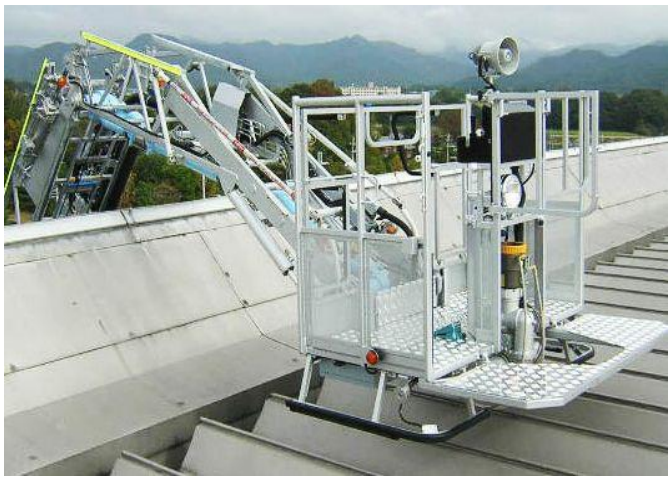


図5 河川等での対応

（７）活動写真

№１

№２



№３

№４

№５